



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1466 2025年9月22日

ARIBの動き

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ第35回会合（AWG-35）の概要

1. 会合の概要

AWG（Asia-Pacific Telecommunity Wireless Group）は、アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システムに関する周波数の調和や標準化等について検討を行う会合です。同地域各国の無線技術の専門家が参加し、通常年2回程度開催されています。本会合の議長はLe Van Tuan氏（ベトナム）が務められました。

2. 開催の概要

日程： 2025年9月8日（月）～ 9月12日（金）

場所： タイ・バンコク（Web会議併用）

参加者： アジア・太平洋地域の主管庁・民間組織・国際機関等から331名。日本代表団として、総務省国際周波数政策室長の加藤義行氏を団長に86名。（電波産業会からは西岡理事、横山次長、佐藤担当部長、金本主任研究員が参加）



会合の様子

3. 主要結果

3-1 IMT関連

(1) 周波数関連（SWG-IMT SPEC）

- ① アジア・太平洋諸国における IMT 周波数の価値決定方法と価格設定に関する APT 報告 APT/AWG/REP-140「APT Report on methodology to determine value of IMT spectrum and information on spectrum prices in Asia Pacific countries」が改訂され、タイ及びベトナムにおけるオークションの実施状況等が反映されました。
- ② アジア・太平洋諸国における 2025～2030 年の IMT 利用動向と周波数開発に関する調査報告 APT/AWG/REP-136(Rev.1)の改訂に関し、日本からの入力を含む2件の入力文書を作成文書に取り込み、レビューが完了しました。本報告は、次回会合（AWG-36）で最終化予定です。
- ③ 6425-7125 MHz における調和の取れた周波数アレンジメントに関する報告の作業開始提案について、賛否両論があり、AWG としては技術的検討に専念すべきであると、作

業計画を変更、タイトルも「6425-7125MHz 帯における IMT システムの技術的特性に関する報告」と変更することにしました。更に、技術検討であることを明確化するため、SWG-IMT-TECH で取り扱うこととしました。

(2) 技術関連 (SWG-IMT TECH)

- ① 移動通信事業者における RAN/周波数共有に関する新報告案「APT Report on technical and regulatory aspects of RAN and spectrum sharing in IMT networks among mobile network operators in the Asia Pacific region」が完成しました。本報告はアジア・太平洋地域において、MNO 間で IMT ネットワークの周波数及び無線アクセスネットワークを共用する際の技術面及び法制度面で考慮すべき事項が記載されています。
- ② IMT-2030/6Gの潜在的なユースケース及び適用方法に関する新報告案に関して、4件の入力文書を作成文書に取り込み、レビューが完了しました。本報告案はAWG-37会合での完成を目指して作業が継続されます。
- ③ 我が国より提案した「IMTネットワークにおけるモバイルトラヒックの動向の分析」が新作業項目として合意されました。本件は、APT加盟国のモバイルトラヒックの現状や将来展望を分析するものです。
- ④ 前年に引き続き、第3回 6G ワークショップが開催されました。今回のワークショップの概要は以下の通りです。
 - 韓国/GSA/GSMA/Ericssonからのプレゼンテーションが行われ、韓国の6G推進団体である6G Forumの活動内容や6Gに向けた標準化団体 (ITU-R、3GPP) の活動状況、過去の方式 (3G/4G) の普及状況を踏まえた6Gの普及予測及び必要な周波数帯域の展望などがありました。
 - プレゼンテーション後に Q&A セッションが設けられ、主な質疑として、3GPP における NTN の周波数帯が TN (地上ネットワーク) の周波数帯と同じであるか、6G の変調方式、6G 導入時の収益性などがありました。

3-2 ITS関連

ITSに関しては、ITS情報通信システム推進会議 (事務局：電波産業会) での検討結果をもとに寄与文書を作成・入力しました。

- ① ITS用ミリ波レーダ/センサーの新報告案に関して、日本から、結論 (第7章) への文章の追記、60GHz帯センサーの節への車外アプリケーションの説明の追記など、内容の完成度を高めるとともに、文書のステータスを作業文書から草案に格上げすることを提案しました。日本が提案した更新内容は新報告に反映され、またステータスが草案に格上げされました。
- ② 路車協調システムに関して、自動運転支援の記述の充実、用語の見直しなど、内容の完成度を高めるとともに、文書のステータスを作業文書から草案に格上げすることを提案しました。審議の結果、日本が提案した更新内容はおおむね新報告に反映され、またステータスが草案に格上げされました。

3-3 その他

本会合にて AWG 議長 Le Van Tuan 氏の任期 2 期目が終了し、新議長として、Daejung Kim 氏 (韓国) が選出されました。1 期目の任期は 2025 年 9 月から 2028 年 9 月です。

4. 次回会合

次回の第36回AWG会合は、2026年4月にブルネイ・ダルサラームで開催される予定です。

ARIB 内会合（9月22日～9月26日）予定

9月24日（水）：第344回技術委員会（通信分野） Web会議併用
9月26日（金）：スタジオ設備開発部会 機器間インターフェース作業班 Web会議

国際会合（9月22日～9月26日）予定

参加を予定している会合はありません。

総務省などからのお知らせ

革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業 令和7年度電波有効利用研究開発プログラムの公募

【令和7年9月12日発表】

総務省が国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）に造成した情報通信研究開発基金について、NICTにおいて革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業の電波有効利用研究開発プログラムで実施する令和7年度研究開発プロジェクトの公募を実施しています。

詳細については[【令和7年9月12日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案に係る意見募集 —伝搬障害防止区域の水上指定に関する審査基準の改正—

【令和7年9月12日発表】

総務省は、水上における重要無線通信の保護のため、電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案を作成し、令和7年9月13日（土）から同年10月14日（火）までの間、意見を募集しています。

詳細については[【令和7年9月12日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp